

東京大学大学院情報理工学系研究科

電 子 情 報 学 専 攻

入 試 案 内 書

修士課程 ／ 博士課程

2003(平成 15)年度

問い合わせ先	
〒113-8656	東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院工学系研究科電気系事務室内 情報理工学系研究科 電子情報学専攻事務室 TEL 03-5841-6711
入試案内ウェブページ	
http://www.i.u-tokyo.ac.jp/ の「入試・進学案内」の項参照	

注意:本冊子以外に,「情報理工学系研究科募集要項」についても必ず目を通すこと

1. 修士課程

1.1 試験日程および持参用具

日時	場所	試験科目	備考
8月26日(月) 9:00～11:30	工学部3号館31号講義室 及び37号講義室. 最終的 な試験場は, 当日工学部 3号館入口に掲示する.	英語	
8月26日(月) 13:00～15:30		数学	
8月28日(水) 9:00～11:30	同上	専門	
8月28日(水) 12:00～12:30	同上	指導教官希 望調査	志望に関してのガイダンスと調 査を行う. 筆記用具を持参するこ と. 別途選考者を含む修士課程受 験者全員出席のこと
8月30日(金) 9:30～	控室: 工学部 3 号館 37 号講義室 試験室: 名誉教授室及び 非常勤講師室	第一次選考 口述試験	別途選考者を除いた修士課程受 験者全員出席のこと
9月2日(月) 9:30～	同上	第二次選考 口述試験	同上

注意

- (a) 専門試験, 指導教官希望調査, 口述試験等に関する連絡を電子情報学専攻の掲示板(工学部3号館入口付近)に掲示するので注意すること.
- (b) 英語, 数学, 専門の試験では, 黒色の鉛筆(またはシャープペンシル), 消しゴム, 鉛筆削り, 定規を持参すること. なお, 電卓, 携帯電話・PHS, 計算機能付時計等の使用は認めない. 試験期間中, 携帯電話・PHSの電源をOFFにし, 身に付けないこと.

1.2 専門科目の内容

本年度の大学院修士課程入試専門科目の内容は下記のとおりである.

(a) 筆記試験

電気電子回路, コンピュータ(ハード, ソフト), 通信・ネットワーク, 信号処理・メディアの分野から6題出題する. 2時間30分でそのうちの3問に解答する.

(b) 口述試験

筆記試験のほかに第一次選考, 第二次選考の口述試験を行う. 筆記試験答案の内容や, 現在の研究テーマ, 大学院での志望などについて質問する. 別途選考者を除いた, 全受験生に対して行う.

1.3 修士課程志願者に対する指導教官希望調査

電子情報学専攻修士課程合格内定者に対しては、指導教官をただちに内定する。本専攻では、指導教官 1 名あたりの各年度学生配属定員は 1～3 名であることを原則としている。このため、調査当日に調査票の配布と説明を行い、希望を記入してもらうので、注意事項参照の上あらかじめ記入内容を検討しておくこと。なお、本学工学部電気工学科、電子情報工学科、電子工学科以外の受験者は試験に先立って、希望する指導教官の少なくとも 1 名とよく連絡をとっておくこと。

調査当日にこの案内書を持参すること。調査内容の詳細については、調査時に口頭で説明するほか、記入に際し希望者に対しては専攻入試委員が相談に応じる。

なお、本調査票の記入事項が合否判定の資料になることはない。

合格内定発表後直ちに内定指導教官の通知を行う。入学を希望しない場合には、その旨本専攻入試委員宛に速やかに連絡すること。

見本

志望調査票（修士）

東京大学大学院情報理工学系研究科
電子情報学専攻

受験番号		氏 名				
学歴	大学	学部	学科[在学中・卒業（ 年）]			
	大学院	系	専攻[在学中・卒業（ 年）]			
A. 志望研究分野		あり・なし（いずれかを○で囲む。ありの場合は順位を指定）				
	順位 1					
	2					
	3					
B. 志望指導教官 (8名記入)		あり・なし（いずれかを○で囲む。ありの場合は順位を指定）				
	順位 1					
C. 志望研究場所		あり・なし（いずれかを○で囲む。ありの場合は順位を指定）				
	順位 1					
	2					
	3					
項目の優先度	指導教官決定の際に上記 A～C の志望のうち、どの項目を重視してほしいか？					
	第一順位		第二順位		第三順位	
10月入学希望有無	あり（ありの場合のみ○で囲む）					

記入要領

- 志望研究分野は、広く（例、通信）書いても、狭く（例、音声認識）書いても差し支えない。
- B 項の志望指導教官において、順位間に有意差がないときは、その旨付記するか、あるいは順位番号を同じにする。例えば、α教授、β教授、γ助教授の3人の教官に対する志望順位が同じときは、1α、1β、1γと書き、その次の志望教官δは、4δとする。
- 研究場所は、本郷キャンパス、駒場キャンパス（生産技術研究所）、一ツ橋キャンパス（情報学研究所）を重複せず、第3位まで記入する。
- 外国人受験者のうち、本学大学院工学系研究科電気・電子情報・電子工学専攻 外国人研究生として既に在籍し、指導教官に変更のない場合は、調査票の志望指導教官欄に現在の指導教官を1名記入するだけでよい。変更を希望する場合は、第3位まで記入すること。それ以外の場合は、第8位まで記入すること。
- 10月入学を希望するものは、必ず資格について専攻事務室で確認すること。

2. 博士課程

2.1 試験日程および持参用具

日時	場所	試験科目	備考
8月26日（月） 9：00～11：30	工学部3号館31号講義室 及び37号講義室. 最終的な試験場は、当日工学部3号館入口に掲示する.	英語	英語筆記試験の免除資格については、下記2.2を参照せよ.
8月28日（水） 9：00～11：30	同上	専門	本学大学院工学系研究科電気・電子情報・電子工学専攻, 新領域創成科学研究科基盤情報学専攻, 情報理工学系研究科各専攻, の修士課程修了者（予定者含む）は受験を要せず.
8月29日（木） 9：00～12：00 13：10～18：00	控室：工学部 3 号館 37 号講義室 試験室：名誉教授室及び非常勤講師室	口述試験（論文）	論文資料および指導教官希望調査票・推薦書・業績リストを 8 月 9 日（金）までに提出. 詳細は本書 2.5 節を参照すること.

注意

- (a) 専門試験, 口述試験等に関する連絡を電子情報学専攻の掲示板（工学部 3 号館入口付近）に掲示するので注意すること.
- (b) 英語, 専門の試験では, 黒色の鉛筆（またはシャープペンシル）, 消しゴム, 鉛筆削り, 定規を持参すること. なお, 電卓, 携帯電話・PHS, 計算機能付時計等の使用は認めない. 試験期間中, 携帯電話・PHS の電源を OFF にし, 身に付けないこと.

2.2 英語の筆記試験について

以下に該当する者は, 英語の筆記試験を省略する.

1. 本学大学院工学系研究科電気工学・電子情報工学・電子工学専攻, 新領域創成科学研究科基盤情報学専攻, 情報理工学系研究科各専攻, のいずれかの修士課程修了者（予定者含む）.
2. TOEFL ペーパーテスト 550 点以上, TOEFL コンピュータテスト 213 点以上, TOEIC 730 点以上, のいずれかの点数を記録している者.

また, 以下に該当する者は, 英語の筆記試験を省略することがあるので, 2.5 節(vi)項にある電子情報学専攻事務室に問い合わせること.

3. 本学大学院新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻, 学際情報学府, のいずれかの修士課程修了者（予定含む）.

また, 筆記試験が省略にならない受験者も, TOEFL, TOEIC を過去に受験している者はそれらの点

数を申告すること。その場合、当該受験者の英語試験の成績は、TOEFL/TOEIC の点数と、筆記試験の成績との良い方を用いる。

2.3 専門科目の内容

本年度の大学院博士課程入試専門科目の内容は下記のとおりである。

(a) 筆記試験

電気電子回路，コンピュータ（ハード，ソフト），通信・ネットワーク，信号処理・メディアの分野から 6 題出題する。2 時間 30 分でそのうちの 3 問に解答する。ただし、

1. 本学大学院工学系研究科電気工学・電子情報工学・電子工学専攻，新領域創成科学研究科基盤情報学専攻，情報理工学系研究科各専攻，のいずれかの修士課程修了者（予定者含む）に対してはこれを省略する
2. 本学大学院新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻，学際情報学府，のいずれかの修士課程修了者（予定含む）に対してはこれを省略する場合があるので，2.5 節(vi) 項にある電子情報学専攻事務室に問い合わせること。

(b) 口述試験

各自の修士論文またはそれに代わるものにつき，口述試験を行う。口述試験に際しては，OHP を用いて研究内容を発表する。また，参考資料を持参しても良い（スライドプロジェクタ，ビデオ等は使用できない）。発表時間は当日担当教官が指示するが，概ね 15～25 分程度である。発表後，その内容について口頭試問を行う。また，筆記試験答案の内容に関し，さらに質問する場合もある。この口述試験は全受験者に対して行う。

2.4 博士課程志願者に対する指導教官希望調査について

電子情報学専攻博士課程合格内定者に対しては，指導教官をただちに内定する。

博士課程を志願する者は，あらかじめ出願期間よりも前に，志望する指導教官の少なくとも 1 名とよく連絡を取っておくこと。

2.5 提出書類

(i) 論文資料

1. 各自の修士論文またはそれに代わるものにつき，その概要，意義，今後の構想をまとめた資料を，次項 2. の要領で作成し，提出すること。
2. 論文資料作成の要領
 - 各自の研究成果を明記すること。
 - 図表を含めて，A4 用紙 4 枚以内にまとめること(片面使用)。
 - 資料は，そのまま複写するので明確に書くこと。上下左右に 1.5cm 程度の余白を残すこと。
 - 資料の各ページの先頭には，出身大学と氏名，ページ番号を記載すること。
 - 資料は，日本語または英語とする。
 - 論文資料は受験者全員が提出すること。

(ii) 指導教官希望調査票

本案内書に添付してあるもの。

(iii) 推薦書および業績リスト

修士課程指導教官の推薦書を提出することが望ましい。また、業績リストもあわせて提出すること。推薦書の様式は任意とし、詳細なものが望ましい。ただし、

1. 本学大学院工学系研究科電気工学・電子情報工学・電子工学専攻、新領域創成科学研究科基盤情報学専攻、情報理工学系研究科各専攻、の修士課程修了者（予定者含む）は、推薦書、業績リストとも提出は不要。

2. 本学大学院新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻、学際情報学府、のいずれかの修士課程修了者（予定含む）は、推薦書、業績リストとも提出は不要になる場合があるので、(vi)項にある電子情報学専攻事務室に問い合わせること。

(iv) 上司の推薦書

社会人で在職の身分のまま入学を希望する場合は、出身の専攻に拘わらず、上司の推薦書(様式任意)および業績リストを提出すること。この場合、修士課程指導教官の推薦書は不要。

(v) TOEFL, TOEIC の成績証明書

過去に TOEFL, TOEIC を受験しているものはそれらひとつまたは両方の点数およびそれを証明する書類

(vi) 書類の提出方法、提出期限

電子情報学専攻事務室(工学部 3 号館 1 階)に提出または郵送すること。郵送の場合は、書留で、宛先は次の通り。

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院工学系研究科電気系事務室内

情報理工学系研究科 電子情報学専攻事務室 宛

(TEL 03-5841-6711)

提出期日 2002 年 8 月 9 日（金）(必着)とする。

志望調査票（博士）			東京大学大学院情報理工学系研究科 電子情報学専攻
受験番号		ふりがな 氏 名	
学歴	大学	学部	学科 [在学中・卒業（ 年）]
	大学院	系	専攻 [在学中・卒業（ 年）]
志望指導教官	順位 1		
	2		
	3		
10 月入学希望有無	あり （ありの場合のみ○で囲む）		

記入要領

1. 志望指導教官名は希望順に 3 名連記すること。ただし、本学大学院工学系研究科電気・電子情報・電子工学専攻修士修了者（予定者含む）および、現在本学大学院工学系研究科電気・電子情報・電子工学専攻大学院外国人研究生となっている者は、現在と異なる教官の指導を希望する場合には希望順に 3 名、現在と同一の教官を希望する場合にはその 1 名を記入すること。
2. 10 月入学を希望するものは、専攻事務室で資格を確認すること。

東京大学大学院情報理工学系研究科 電子情報学専攻
教官一覧ならびに研究分野・研究題目等紹介(2002年6月1日現在)

[A. 本郷キャンパス]

※ 教 授 田中英彦
教 授 青山友紀
教 授 原島 博 (情報学環・学際情報学府)
教 授 石塚 満
教 授 西田豊明
教 授 坂井修一
助教授 江崎 浩
助教授 古関隆章
助教授 黒橋禎夫
助教授 峯松信明
助教授 苗村 健 (情報学環・学際情報学府)
助教授 田浦健次朗

[B. 駒場リサーチキャンパス…生産技術研究所]

教 授 今井秀樹
教 授 坂内正夫
教 授 池内克史 (情報学環・学際情報学府)
教 授 喜連川優
助教授 瀬崎 薫
助教授 佐藤洋一
助教授 松浦幹太 (情報学環・学際情報学府)
講 師 上條俊介

[C. 一ツ橋キャンパス…情報学研究所]

※ 教 授 浜田 喬
教 授 浅野正一郎
教 授 安達 淳

※印の教官は本年度は大学院学生を受け入れない。

**平成 15(2003)年度東京大学大学院情報理工学系研究科
電子情報学専攻
修士課程・博士課程入学試験受験者心得**

1. 試験日時

この案内書に記載の「試験日程」を参照すること。

2. 試験場

東京大学(東京都文京区本郷 7-3-1)本郷キャンパス図参照

地下鉄:丸の内線・大江戸線「本郷三丁目」、千代田線「根津」、南北線「東大前」、三田線「春日」下車
バス:「東大正門前」、「東大構内(スクールバス)」下車

- (1) 各自が受験すべき試験室の建物については、試験当日の試験開始 40 分前までに本専攻掲示板(工学部 3 号館入口)に掲示する。
- (2) 受験者は、試験開始 15 分前までに所定の試験室に入室すること。定刻に遅れた場合は、各試験監督者に申出ること。専門科目試験については、専攻において別に指示することもある。

3. 携行品

- (1) 受験票
- (2) 黒色鉛筆(又は黒色シャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り(卓上式は不可)又はナイフ、時計(計時機能だけのもの)を必ず持参すること。
- (3) 専門科目試験の携行品については、専攻において別に指示することもある。

注: 試験時間中、携帯電話の電源は OFF とする。また身につけてはならない。

4. 試験時の留意事項

- (1) 試験開始後 1 時間以内は、退室を許さない。
- (2) 試験時間中の用便は、原則として許さない。
- (3) 試験時間中、受験票を常に机上に置くこと。
- (4) 試験問題の内容に関しては、質問を許さない。
- (5) 解答用紙ごとに受験番号を記入すること。氏名は書いてはならない。解答は、それぞれの所定の用紙に記入すること。不足の場合は、裏面に記入すること。
- (6) 解答用紙・問題冊子は、持ち帰ってはならない。

以上